

Nutrition Support Times

HELP!" I LOVE to Eat"



初代 chairman の外科の和田先生から、「まちゃん、美味しいもん、好きでしょう？NST 入り。」と、騙されて、「I Live to Eat.」を座右の銘としている私は、NST チームにはいっていません。嘘です。本当は、褥瘡対策チームのご縁です。でも、不勉強な幽霊部員で、御世話になってばかりです。

この間も…。ある月曜日の午後、救急外来から、「大腿骨折の御婦人が、ぼつぼつと褥瘡もあって…。整形の先生からの伝言で、併科で診て欲しいと。」とコール。行ってみると、確かに、左の大腿が腫れている。顔も、開眼できない程腫れている。きっと、うつ伏せで倒れていたに違いない。でも、それ以外は、黄ばんで、妙にむくんで。とても、栄養状態の悪そうな御婦人。自宅で、2 週間前に転倒して骨折したらしい。新聞屋さんからの通報かしら。え？同居家族有り？ええ？ご飯は？？きいきいと少し高い、張りの或る

お返事が、手元から。「ご飯はね、お父さんが、毎日、作ってくれてたの。」わあ、レベルは保たれている。御主人も、「僕がね、毎日一所懸命、前の入院で習ったとおりに食事をつくり、二人で食べてました。足が腫れているので、循環器内科でもらった利尿剤を飲ませたりもしたんです。それでも、腫れがひかないので、御電話したんです。」採血の結果は、TP4.5、ALB1.7、HB6.7。大慌てで、我々が NST に連絡して、御高診を仰ぐ。「プロテイン・デス寸前です。」という有岡大明神のお沙汰。肌理細かく、食事の指導をいただく。翌火曜日には、整形外科から「手術適応無し」と診断され、水曜日に、形成外科転科。病棟も一般病棟へ。ご主人に再度転科の報告と新主治医としての御挨拶、病状説明をさせていただく。お二人が共倒れにならないように、公的補助の導入も考えて、ケースワーカーの古川さんの出勤もお願いする。

役所に病院に、東奔西走、御主人、ほんと熱心。ご飯をあげたり、飲ませたり、甲斐甲斐しい。毎日、9 時には出勤して来られる。

ある日、御主人に「日に日に、御元気になられていますね。採血の結果も、良くなってます。書類の申請も、進んでいるようですね。先日、役所から連絡がありましたよ。」と、ベッドサイドでお話する。「ああ、それ。僕、主治医の先生の名前を、間違っちゃって。整形外科の山本先生なのに、何か、うっかりして、もう辞めた違う先生の御名前を書いちゃって、役所から電話がありました。でも、こちらのマトーさんが、書類を書いてくれることになって、解決したんです。」「…そう、それは、良かったですね…。」「ええ。本当に良かったんです。」

(次号へつづく)



摂食嚥下実習 (PT編)

6 月 4 日スタッフ勉強会で PT の清水さんを講師に体位呼吸補助等の実習を行いました。正しい姿勢の整え方、喀痰排痰の補助方法などすぐに患者に役立つ実習でした。うまく体位を整えるだけで患者は楽になり、褥瘡回避にもうってつけの本当に役立つものでした。このような実習を今後も続けていきたいと思ひます。

NST 歓送迎会

6 月 6 日 NST 歓送迎会を開き大いに盛り上がりしました。これからもスタッフ一丸となってがんばっていく所存です。みなさんご協力よろしく！！



NCM 講演会予定

月日	内容	担当
6/26	栄養投与計画	小林先生
7/24	経腸栄養について & 試飲会	東別府先生
8/28	周術期の栄養について	小林先生
9/25	PEG について	未定
10/23	肝臓の栄養について	木本先生
11/27	腎臓と栄養について	田路先生
1/22	免疫と栄養について	永井先生

NST カンファレンス・回診

毎週水曜日 pm1:00～ 8 北(861)NST カンファレンスルーム